

授業科目 公衆衛生看護活動論 II

【担当教員名】		対象学年	3	対象学科	看護
小山 歌子、杉本 洋		開講時期	前期	必修選択	必修
		単位数	1	時間数	15
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	○	○	○	○	
【概要・一般目標：GI0】 地域で生活する人々の健康を保持増進、改善するために必要な支援技術である保健指導について理解する。					
【学習目標・行動目標：SBO】					
<ol style="list-style-type: none"> 1. 公衆衛生看護活動における保健指導の位置づけと目的を説明する。 2. 保健指導を実践するために必要な理論を説明する。 3. 個人や家族、集団に対する保健指導の方法を知る。 4. 住民が主体的に健康を保持増進する活動を支援する方法を知る。 					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	保健指導の目的、対象、特徴			1	講義、担当：小山 歌子
2	保健指導に活用できる理論			2	講義、担当：小山 歌子
3	個人に対する保健指導（家庭訪問、健康相談）の展開（1）			2、3	講義・DVD、担当：小山 歌子
4	個人に対する保健指導（家庭訪問、健康相談）の展開（2）			2、3	講義・DVD、担当：小山 歌子
5	集団に対する保健指導の展開（健康教育）（1）			2、3	講義・DVD、担当：杉本 洋
6	集団に対する保健指導の展開（健康教育）（2）			2、3	講義・DVD、担当：杉本 洋
7	地域組織活動の支援方法を知る（1）			4	講義、担当：小山 歌子
8	地域組織活動の支援方法を知る（2）			4	講義、担当：小山 歌子
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		公衆衛生看護学	津村智恵子、上野昌江	中央法規	既に購入したものを使用する
		第3版 公衆衛生看護学 jp	荒賀直子、後閑容子	インターメディカル	既に購入したものを使用する
参考書					
その他の資料					
【評価方法】 課題レポート・小テスト等 30%程度 筆記試験 70%程度			【履修上の留意点】		